

平成23年第2回定例会 一般質問通告一覧表

氏名(受付日時)	番号	質問事項	質問の具体的な内容
1. 蜂須賀千雅 5月27日 8:30	1	尾崎新市長の個別の施策についての考えと、今後における諸課題と対応について	<ul style="list-style-type: none"> ① 市内全ての子ども関連施設の放射能の測定・公表についてと学校給食食材の産地について ② 夏の公共施設の節電対策と、企業・家庭への節電対策へのサポート体制について ③ 地域担当制を導入し自治会と地域の更なる活性化について ④ 中学校における地域防災訓練の訓練内容の今後の取り組みについて ⑤ 小学生の通学時・帰宅時の見守り体制の充実と、子どもの居場所づくりとしての児童館の充実について ⑥ 高齢者が気軽に街へ出る事の出来る交通基盤整備の充実と、知識と経験を存分に活かしてもらい、健康で元気に生活をしてもらえる施策の充実について ⑦ 子宮がん検診の更なる充実と、女性の健康相談の充実について ⑧ 新市長と職員とのコミュニケーションの充実について
2. 根岸 聡彦 5月27日 8:30	1	人権について	<ul style="list-style-type: none"> ① 人権思想の普及活動について <ul style="list-style-type: none"> ア 人権思想、あるいは人権教育に対する考え方について イ 児童・生徒に対する人権教育について ウ 社会人向けの人権教育 ② 人権侵害があった場合の対応について <ul style="list-style-type: none"> ア 被害者に対する相談・救済 イ 防止策の取り組みについて ③ 人権擁護委員について <ul style="list-style-type: none"> ア 当市における必要数と現状 イ 不足している場合、充足に向けた具体策について
	2	コミュニティバスについて	<ul style="list-style-type: none"> ① ちょこバスの運営状況について <ul style="list-style-type: none"> ア ちょこバスの運営にかかる費用と効果について イ 市民からの声に対する取り組みについて
	3	子どもの教育について	<ul style="list-style-type: none"> ① 東大和市の小中学生の学力水準について <ul style="list-style-type: none"> ア 現在の水準と過去の取り組みの成果について イ 東大和市が目指すレベルについて ウ 今後の取り組み課題について ② 学力向上に向けた支援体制について ③ コミュニケーション能力向上の取り組みについて
	4	東大和市の歴史的文献について	<ul style="list-style-type: none"> ① 行政が作ったもの、民間が作ったものをどう把握しているか。 ② 市はそういった文献を今後どう活かしていくのか。

	5	狭山緑地について	<p>③ 里正日誌について</p> <p>ア 里正日誌というものを市としてどのように位置付けているのか。</p> <p>イ 里正日誌の編纂はどのような計画で始められたのか。</p> <p>ウ 現状と今後の展望について</p> <p>① 狭山緑地の保全について</p> <p>② 狭山緑地の景観について</p> <p>③ 狭山緑地の生態系について</p>
<p>3. 床鍋 義博</p> <p>5月27日</p> <p>8:30</p>	1	東大和市一般廃棄物処理計画について	<p>① 平成20年3月発行の東大和市一般廃棄物処理計画において、ごみの排出物原単位（市民1人当りの排出物量）800g/人・日以下の目標に対して、直近までの推移についてお伺いいたします。</p> <p>② 「市民活動への支援」について</p> <p>ア 具体的な取り組みについてお伺いいたします。</p> <p>イ その効果測定はどの様に行われていますか。</p> <p>③ 生産者・国・都への働きかけについて</p> <p>ア 具体的な施策についてお伺いいたします。</p> <p>イ その成果をお示し下さい。</p>
	2	3市共同資源物処理施設について	<p>① 東大和市桜が丘が建設想定地とされているが、この議会において昨年3月に白紙を含む抜本の見直し決議がされ、6月には庁議でも受け入れ困難であると決定がなされましたが、その後の経緯と現在の状況をお示し下さい。</p> <p>② 桜が丘周辺の住民が同施設の建設計画について懸念を抱いているが、上記①の件も含め市長の考えをお聞かせ下さい。</p> <p>③ 東大和市での受け入れが困難であるとの表明に対し、小平市・武蔵村山市の同意が得られなかった場合</p> <p>ア 予想される問題点は</p> <p>イ 代替案はありますか</p>
	3	長瀬前議員に対する民事訴訟について	<p>① 経緯と現状についてお伺いいたします。</p> <p>② これまでかかった費用の総額とその内訳についてお伺いいたします。</p> <p>③ 立候補が予想される人物に対して選挙4カ月前という時期に訴えを提起したことについてどの様に考えますか。</p>
	4	市長の公務日誌について	<p>① これまでホームページ上に公開されている市長の公務日誌は、午前だけが書かれていて午後部分が書かれていなかったり、日付そのものが抜けていたりして不完全であると考えているが、今後もこの通りに行うのでしょうか。</p>
	5	市民大学について	<p>① 市長の公約でもあります「市民大学」について具体的にお伺いいたします。</p>

<p>4. 押本 修 5月27日 8:39</p>	<p>1</p>	<p>雨水対策について</p>	<p>① 南街地域における雨水対策について ア 平成20年度以降に取られた対策について a 具体的な内容について b 投じられた予算について c 効果について イ 今後の対策について a 今年度の対策について b 来年以降の予定について c 青梅街道沿いに設けられている雨水ますの数は適切と考えますか。</p>
<p>5. 実川 圭子 5月27日 14:30</p>	<p>2</p>	<p>学校教育について</p>	<p>① 小・中連携教育について ア 導入の経緯について イ 東大和市が目指すものは</p>
	<p>3</p>	<p>交番について</p>	<p>① 東大和市駅前交番設置へ向けて ア 東大和市の考えとこれまでの交渉について イ 設置へ向けて東大和市として協力できることは</p>
	<p>4</p>	<p>農政について</p>	<p>① 福島第一原子力発電所事故による放射性物質の影響について ア 東大和市内の茶畑で生産された茶葉の安全性について イ 今後の対策について</p>
	<p>1</p>	<p>市民と行政が協働するまちづくりについて</p>	<p>① 今後のまちづくりについて市民と行政の協働をどのように進めるか「市民といっしょに開かれた市政を目指す」市長の考えをうかがいます。 ② 市民の行政参加について行政はどのように対応していますか。 ③ NPOやボランティア活動は福祉、教育、環境、まちづくりなど多岐にわたりますが、その活動の支援体制は助成金を除きどのようなものがあるかうかがいます。 ④ 「花いっぱい運動」について</p>
<p>2</p>	<p>2</p>	<p>学校教育について</p>	<p>① 私たち大人が育った環境と今の子どもたちのおかれた環境は大きく違います。今後の子育て支援、学校教育についてよりよい環境をつくるためにも、今東大和に暮らす子どもたちについて、どのように認識しているか市長にうかがいます。 ② 学校設備環境について ア 冷房設備が設置される予定ですが、今後の使用状況はどのようにになると予測しますか。 イ 校舎・設備が老朽化している市内の小中学校において、最優先の耐震工事が済んだ後、今後優先させる環境設備は何になるとお考えですか。</p>
	<p>3</p>	<p>防災について</p>	<p>① 計画停電時の対応について ア 学校給食について イ 今夏の節電対策について ② 防災無線による安全確認の呼び掛けは可能でしょうか。</p>

			<p>③ 災害時の農地利用に関する協定について</p> <p>④ 防災計画の見直しについて</p>
<p>6. 御殿谷一彦</p> <p>5月27日</p> <p>14:50</p>	<p>1</p>	<p>事業継続計画策定(BCP)について</p>	<p>① 当市の事業継続計画書の作成状況は</p> <p>② 災害時に職員が実施すべき職務は把握されているか。</p> <p>ア 優先業務の確定・目標時間</p> <p>③ 上位責任者不在時などの権限委譲の体制について</p> <p>④ 市役所の事務遂行の代替場所は準備されているか。</p> <p>⑤ IT関連業務の継続</p> <p>ア 基幹系システムの継続対策</p> <p>イ サーバー系システムの継続対策</p> <p>ウ 計画停電を含め、停電時のIT関連業務の継続対応は</p> <p>⑥ 災害時の部署間の援助体制はできているか。</p> <p>⑦ 最悪の事態発生を想定し、事業継続計画の策定を求める。</p>
	<p>2</p>	<p>災害時の市民サポート体制について</p>	<p>① 全国避難者情報システムは導入されているか。</p> <p>② 今回の市内の避難者に対する情報提供、相談窓口の状況</p> <p>③ 被災者支援システムの導入を求める。</p>
<p>7. 中野志乃夫</p> <p>5月30日</p> <p>9:10</p>	<p>1</p>	<p>市長の公約について</p>	<p>① 市長・副市長・教育長給与の大幅削減について</p> <p>② 市長車の廃止について</p> <p>③ 市内循環バスの利便性向上について</p> <p>④ 「総合福祉センター」のあり方、検討・整備について</p>
	<p>2</p>	<p>震災対策について</p>	<p>① 小中学校耐震対策の進捗状況と暑さ対策について</p> <p>② 市役所、公民館等公共施設の耐震対策の早期実現について</p> <p>③ 被災地への幹部職員の派遣について</p>
<p>8. 佐竹 康彦</p> <p>5月30日</p> <p>11:26</p>	<p>1</p>	<p>雨水対策について</p>	<p>① 市内の水防対策について</p> <p>ア 「東大和市地域防災計画」は平成16年2月修正版が最新です。修正がなされてから7年が経過し、市の水防対策に変化はあったかどうか、お聞かせください。</p> <p>イ アを受けて市の最新の水防対策を確認させてください。</p> <p>② 東大和市駅周辺(向原・南街地域)の雨水対策</p> <p>ア ここ数年、いわゆる「ゲリラ豪雨」と呼ばれるような、短時間に大量の降雨によって水害が出る事例があります。市内におけるその被害状況の現状把握をお聞かせください。</p> <p>イ こういった水害に対して、特に東大和市駅周辺地域の水害対策はどのようなものがとられているのでしょうか。</p> <p>③ 雨水対策の一環としての「雨水浸透施設」設置に関して</p> <p>ア 東大和市において、各家庭や事業所などが「雨水浸透施設」を設置することに対する見解をお聞かせください。</p>

	2	図書館について	<p>イ 三多摩地域の他市において、「雨水浸透ます」や「雨水貯留槽」設置への補助制度があります。東大和市においては、補助制度がないようですが、今後補助制度を設ける意思があるかどうか、お聞かせください。</p> <p>① 図書館の位置づけ ア 市の社会教育事業において、図書館をどう位置づけているか。 イ 今後の図書館の運営ビジョンについて</p> <p>② 図書館業務について ア 現在の夜間開館・休日開館の状況 イ 電子書籍の導入について</p> <p>③ 図書館における防災対策について ア 現在どのような体制がとられているか。 イ 定期的な避難訓練などは行われているか。 ウ 今後の対策について</p>
	3	小学校の英語教育について	<p>① 英語教育の現状 ア 東大和市における英語教育の基本方針について イ 当市においては平成21年度から実施をされている。その教育の成果と課題はどのようなものか。 ウ イを受けて今後の対策について</p> <p>② 英語学習の環境整備 ア 小学校の英語教育についてどのような環境整備がなされているか。 イ 音声教材や映像教材の充実について ウ 英語の学習に興味を持った児童のために、各学校の図書館や公共図書館に英語の書籍は蔵書してあるか。</p>
9. 東口 正美 5月30日 11:27	1	緊急災害時の児童・生徒の下校について	<p>① 平成23年3月11日（金）東日本大震災発生時の各学校（幼稚園・保育園・小学校・学童・中学校）の下校時における保護者への引き渡しの状況について</p> <p>② 保護者への連絡・連携の取り方について</p> <p>③ 緊急災害時の判断基準</p> <p>④ 今後の課題（一斉下校・引き渡し訓練・避難訓練）</p>
	2	保育園待機児童0を目指して	<p>① 現在の待機児童の状況について</p> <p>② 保育ママ制度の取り組みについて</p>
	3	介護支援ボランティア制度について	<p>平成23年10月から制度導入開始にあたり、現在の取り組みの状況について</p>
10. 大后 治雄 5月30日 13:40	1	市財政運営について	<p>① 前市政との違いは ア 何をどう変えるのか イ 「市民の誰もがわかる財政状況の公表」の具体策は</p> <p>② 借金総額について ア 現状は イ 解消策は</p>

	2	市内の施設について	<p>③ 市の税制について ア 現状と課題は イ 見直しは</p> <p>④ 事務・事業の見直しについて ア 現状と課題は イ いわゆる「仕分け」の着手は</p> <p>① 郷土博物館について ア 沿革と概要は イ 現状は ウ 課題は</p> <p>② (仮称) 東大和郷土美術園について ア 沿革と概要は イ 現状は ウ 課題は</p>
11. 中間 建二 5月31日 12:24	1	行政改革の成果の認識と更なる取り組みについて	<p>① これまでの当市の取り組みの成果と改善策の認識は</p> <p>② 職員定数の適正管理と一層の効率的な行政運営の施策は</p> <p>③ 指定管理者制度の更なる積極的な活用の方針は</p> <p>④ 行政評価制度を活用した基本計画の進行管理の手法について</p>
	2	情報公開の取り組みについて	<p>① これまでの市政で情報公開の取り組みは不足していたのか。</p> <p>② 市政情報コーナーの設置と担当職員の配置を行うべきではないか。</p> <p>③ 庁議の内容の公表について、詳細な内容の公表を行うべきではないか。</p>
	3	災害時における市民への情報提供の手段について	<p>① 防災行政無線の活用状況と課題について</p> <p>② コミュニティFMの導入を図るべきではないか。</p> <p>③ ツイッターなどソーシャルネットワークの活用は</p>
	4	災害時要援護者対策について	<p>① 災害時要援護者リストの作成について、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>② 作成したリストに基づいて、具体的な救援救助の体制をどのように整備していくのか。</p>
12. 二宮 由子 6月1日 15:00	1	節電対策について	<p>① 現状及び対応は</p> <p>② 各学校の取り組み及び市民への啓発は</p> <p>③ 自然エネルギー導入及び雨水の有効活用の考えは</p> <p>④ スーパークールビズの推進は</p> <p>⑤ 今後の課題は</p>
	2	選挙について	<p>① 期日前投票の利用の推移は</p> <p>② 投票率向上への取り組みは</p> <p>③ 選挙公報のあり方は</p> <p>④ 開票状況の情報提供及び開票所の対応は</p> <p>⑤ 今後の課題は</p>

<p>13.西川 洋一 6月2日 14:02</p>	<p>1</p>	<p>安心安全のまちづくり</p>	<p>東日本大震災は、自然災害・人災の恐ろしさを教えてくれました。その一つとして、公共施設や個人住宅の耐震診断・耐震化工事の促進が求められます。推進策について伺います。</p> <p>① 住宅リフォーム助成制度の一層の拡大・充実 ② 木造住宅耐震診断・耐震化工事助成制度の拡大・充実</p>
	<p>2</p>	<p>産業を育て伸ばし、活気ある町に</p>	<p>① 市内事業者の仕事を増やすための施策をお聞かせください。 ア 小中学校へのクーラー設置工事は市内事業者 イ 事業者の優れた技術・商品・サービスの紹介、宣伝活動の強化 ② 都市の農地・農業を守り発展させるために、市の施策をお聞かせください。 ア TPP（環太平洋連携協定）交渉へ日本が参加することが大問題になっています。尾又前市長は反対の態度でした。市長の考えを伺います。 イ 都市の農地・農業を守るためには、農家の相続税、農地課税の改善が必要です。市の対策をお聞かせください。 ③ 公契約条例の制定を求めます。</p>
	<p>3</p>	<p>市内公共交通の改善・充実について</p>	<p>① ちょこバスの運行改善について、市長も「市内循環バスの利便性の向上を目指します。」と述べています。改善するための検討を直ちに始めることを求めます。</p>
<p>14.尾崎 利一 6月2日 16:10</p>	<p>1</p>	<p>原発事故から市民と子どもを守る取り組みについて</p>	<p>① 市内の放射線量測定をおこなって公表する、測定結果によっては必要な安全対策を講じるなど、市民と子どもたちの命と健康を守る必要があると考えますが、見解と具体策を伺います。 ② 原発依存のエネルギー政策から脱却し、原発から撤退しなくては市民の安全は守れません。見解を伺います。</p>
	<p>2</p>	<p>保育園の待機児解消と命と安全を守る取り組みについて</p>	<p>① 面積基準や職員配置基準などについて、市の考え方を伺います。 ② 待機児の現状と対策について伺います。</p>
	<p>3</p>	<p>高齢者の暮らしを守る取り組みについて</p>	<p>① 高齢者世帯や一人暮らし高齢者などの見守り・支援ネットワークの構築が求められます。市の考えと施策について伺います。 ② 要支援など軽度者を介護保険から切り捨てる動向に反対し、必要で適切な介護を実施するよう求めます。いかがですか。</p>
	<p>4</p>	<p>3市共同リサイクル施設について</p>	<p>① 昨年6月、現暫定リサイクルセンター用地での建設受け入れは不可能と市が決定した理由と根拠について、現時点に立って改めて伺います。 ② 今後の対応について伺います。</p>
	<p>5</p>	<p>通学路の安全対策について</p>	<p>① 桜が丘2丁目の桜が丘北公園界隈の通学路の安全対策について伺います。</p>

<p>15.和地 仁美 6月3日 8:30</p>	<p>1</p>	<p>市職員の市民対応について</p>	<p>① 現状について ア 職員の対応状況について イ 状況把握、情報共有の仕組みについて ② 研修・マニュアルについて ア 研修の選定、派遣者の選定について イ 研修の効果検証、マニュアルの活用について ③ 今後について ア 市民の満足度の把握方法について イ 職員のマネジメントについて</p>
	<p>2</p>	<p>ふるさと納税について</p>	<p>① 現状について ア ふるさと納税の税制が制定されてから今までの経過と現状について イ 当市のふるさと納税の納税者への対応について ② 今後について ア 当市の今後のふるさと納税の位置づけについて</p>
<p>16.森田 真一 6月3日 10:45</p>	<p>1</p>	<p>東日本大震災の被災者支援と市民生活への影響について</p>	<p>震災発生から3カ月がたちます。日本共産党市議団は先月石巻市で被災地支援ボランティアに取り組み、その中で改めて復興への長期の構えが必要とされることを感じ、また当市における防災計画の見直しも不可欠であると感じました。今回の震災の教訓を市政にいかすために、この間の市の対応と市の認識についてうかがいます。</p> <p>① 被災地から当市に避難をされた方々への対応について ア 当市への避難者の把握と対応について イ 当市からの被災地支援についての現状と今後の計画は ② 当市での被災状況とその対応について ア 建造物や人的な被害はどのように現れましたか。 イ 帰宅困難者への対応について ③ 当市での市民生活への影響とその対応について</p> <p>東日本大震災は、従来の地域防災計画の想定を超えるものとなりました。この震災を受けて、地域防災計画も当然見直しが必要と考えられます。災害に強いまちづくりに向けた市の課題をどうとらえているのかうかがいます。また、当面の施策についてもうかがいます。</p>
	<p>2</p>	<p>今夏の猛暑対策について</p>	<p>昨夏の全国的な猛暑の中、全国で熱中症により167人が死亡、5万4千人近くが救急搬送されました。とりわけ高齢者の被害は全体の半数近くを占めました。先日の気象庁の3カ月予報によれば今夏も昨年に次ぐ猛暑になるものと見込まれ、子どもや高齢者の健康に危険が及ぶことが危惧されます。そこで市の認識をうかがいます。</p> <p>① 昨夏の市内での被害状況は ② 今夏の市の対応は</p>

<p>17. 関野 杜成 6月3日 11:15</p>	<p>1</p>	<p>市長について</p>	<p>① 市長が考える現在の東大和市の問題点について ② 市長が考える市民への情報公開について</p>
<p>18. 中村庄一郎 6月3日 11:16</p>	<p>2</p>	<p>コミュニティーについて</p>	<p>① 現在の地域コミュニティーをどのように考えるか。 ② 今後の考えと予定</p>
	<p>3</p>	<p>選挙・投票について</p>	<p>① 選挙の投票率についてどう考えているか。 ② 今後の考え</p>
	<p>4</p>	<p>河川について</p>	<p>① 今後の市内の河川環境をどのように考えるか。 ② 今後の予定と地域の意見について</p>
	<p>5</p>	<p>入札について</p>	<p>① 現状の考えと改善点 ② 小中学校の冷房設備設置について、前市長は地元優先とした入札を行う考えだったが、今後の考えは</p>
	<p>6</p>	<p>公金納付について</p>	<p>① コンビニ収納について ② カード支払いについて ③ やまとカードの利用について</p>
	<p>7</p>	<p>放射能について</p>	<p>① 児童を持つ保護者の不安解消について ② プールの今後の考え</p>
	<p>1</p>	<p>消防団の待遇について</p>	<p>東日本大震災では、200名を超える多くの消防団員が殉職された。いまだに行方不明の方がいる。3月11日に東大和市の消防団も、市内各所で活動されたと聞いている。 ① 3月11日の消防団の対応について ② 震災時の消防団の役割、また訓練内容などについて ③ 消防団員は、自らの仕事を持ちながらいざという時にまちと市民の生命財産を守る崇高な活動だ。それなりの待遇が必要と思う。 他市とくらべて待遇の現況と待遇改善の考えは（報酬や装備の増強等）</p>
<p>2</p>	<p>消防団詰所の耐震化と建て替え計画について</p>	<p>① 東大和市の計画と進捗状況（協力団体や運営組織、予算等について） ② プレイベントについて（予定と内容）</p>	<p>① 現状と今後の課題について</p>
<p>3</p>	<p>多摩国体について</p>	<p>① 東大和市としての対策と今後の課題 ② 市内の団体、組織との協力体制等は</p>	<p>① 東大和市としての対策と今後の課題 ② 市内の団体、組織との協力体制等は</p>
<p>4</p>	<p>危機管理体制について</p>	<p>① 東大和市としての対策と今後の課題 ② 市内の団体、組織との協力体制等は</p>	<p>最大規模の地震、津波災害と福島原発の危機という三重苦の事態に対する救助、復興活動は多くの教訓を残している。</p>
<p>5</p>	<p>熱中症等の緊急対策について</p>	<p>節電を意識した効果的な熱中症対策について考えようと気象庁は「この夏の気象情報利用に関する</p>	<p>節電を意識した効果的な熱中症対策について考えようと気象庁は「この夏の気象情報利用に関する</p>

			<p>会議」を4月22日開催した。</p> <p>電力不足による節電が求められる中で、今夏の熱中症を東日本大震災後の「2次災害」にしないよう注意を喚起したものだ。</p> <p>① 気象庁では、この夏も昨年同様「高温傾向の予報」と見込むが、東大和市としての対応は</p> <p>ア 各施設、学校、保育園等の利用者への対応</p> <p>イ 各家庭、子ども、高齢者等への情報の提供や啓発グッズ等の提供は</p>
--	--	--	--